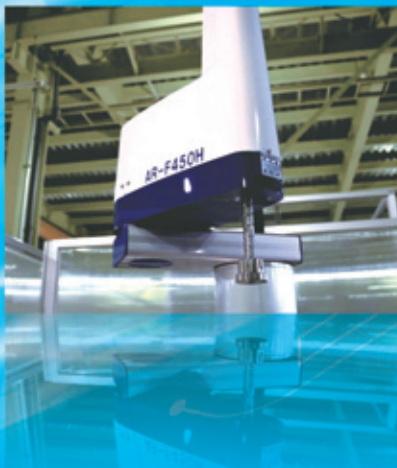




# 第62期 HIRATA REPORT

平成24年4月1日～平成25年3月31日





代表取締役社長 平田雄一郎

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第62期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当期間における世界経済は、欧州での金融、財政不安による債務問題の影響を受けて景気の低迷が続いたことに加え、新興国経済の成長も減速傾向にあるなど厳しい状況で推移しました。一方、国内経済におきましては世界経済の低迷、為替の円高基調などにより、景気の先行きについて依然として不透明感が払拭できない状況が続いておりましたが、政権交代に伴う経済対策、金融対策への期待感から株価の上昇や円安も急速に進行するなどの

明るい兆しも見えはじめております。

このような中、当社グループにおきましては、企業の設備投資に対する慎重な姿勢が継続したことで、予定しておりました案件の受注が遅れるなど、依然として厳しい状況で推移し、当期間の連結売上高は381億46百万円(前年同期比19.9%減)となりました。

利益面では、売上げを予定していた自動車関連、半導体関連等の大型案件の延期に伴う売上高の減少により、営業利益は4億50百万円、経常利益は3億94百万円、当期純利益は2億84百万円となりました。なお、当期の配当につきましては、1株あたり12.5円の配当を実施いたします。

## 通期業績の見込みについて

平成26年3月期の見通しにつきましては、世界経済および国内経済における景気の先行き不透明感は継続し、企業の設備投資は慎重になることから、事業環境は依然として予断を許さない状況が続くものと思われまます。このような環境のもと、当社グループにおきましては中期経営計画「PLUS ONE 61」(平成24年度～平成26年度)

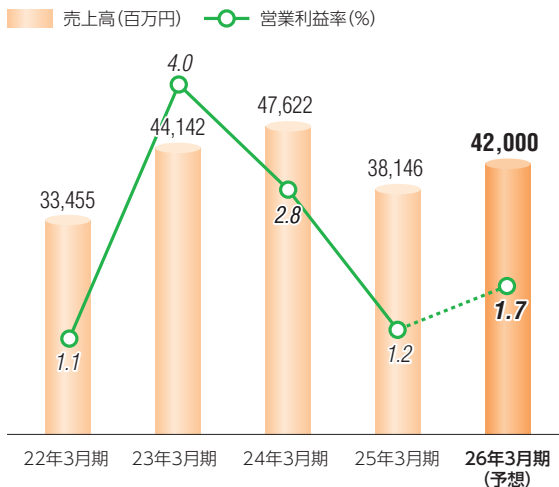
の2年目として、営業・受注体制の強化、生産効率の向上、新事業領域への参入、商品開発を加速し、コスト競争力の向上を積極的に図ってまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### ■ 平成25年3月期 累計実績と通期業績予想(連結)

	平成25年3月期 実績	平成26年3月期予想 通期
	売上高	381億円
営業利益	4.5億円	7億円
経常利益	3.9億円	5億円
当期純利益	2.8億円	3億円
1株あたり当期純利益	27.12円	28.55円
1株あたり配当金	12.5円	12.5円

### ■ 連結売上高・営業利益率推移



## GM社から2年連続、 「Supplier of the Year」を受賞

(2013年3月)

### アセンブリーおよびテスト装置の部門において高評価

当社は、2013年3月13日、米国自動車会社General Motors Company(以下「GM社」)から2年連続で、「Supplier of the Year」を受賞いたしました。

GM社は、1992年から毎年、同社に部品や設備などを供給する世界中のサプライヤーの中から、特に同社に多大な貢献をしたと評価した企業を表彰しています。

今回は、世界中のサプライヤー約18,500社の中から「革新的な技術」、「優れた品質」、「タイムリーなクライシス・マネージメント」、「競争力のある全社最適型コスト解決法」などに貢献した、わずか1パーセント未満の83社が選定され、その1社に選ばれました。前回はアセンブリー部門での受賞でしたが、今回はアセンブリーおよびテスト装置の部門における受賞です。

### 積み重ねた実績と信頼関係

当社は、GM社はじめ米国の自動車会社からは、1990年代からエンジン組立ラインなど数十億円規模の大型設備を継続的に注文いただき、当社製品の技術、品質および納期について高い評価をいただいております。

長年続く実績と信頼関係が高く評価され、2度目の受賞につながりました。名立たる企業の1社に選ばれ光栄の至りです。

これからもお客さまが求めるものを提供できる企業として革新と挑戦する企業であり続けます。



デトロイトで行われた受賞式にて



Supplier of the Year記念の楯



自動車関連生産設備のイメージ

# 300mmと450mm兼用の ウェーハ真空搬送ロボットを開発

(2012年11月)

## 単品を組み合わせたシステムとしての販売を目指す

半導体製造装置分野において300mm/450mmウェーハに兼用できる新型のウェーハ真空搬送ロボットを開発いたしました。

## 300mmと450mm兼用のウェーハ真空搬送ロボット

ウェーハ搬送ロボットとは、ICチップやLSI（大規模集積回路）などの半導体製品をつくる過程において、主な原材料となるウェーハの搬送に使用される製品です。今回の開発によって、振動かつ横ブレ低減によりウェーハへのダメージを減らすことができ、より微細化に対応可能なロボットとなりました。また300mmと450mmのウェーハのサイズに兼用できるため、対象となる市場が広がるだけでなく、生産現場のウェーハのサイズ変更にも柔軟に対応できます。

## さまざまな生産現場に対応できる製品をラインナップ

関連装置である改良型の450mmFOUP オープナ、大気搬送ロボット、アライナーなども取りそろえており、それらを組み合わせたEFEM(Equipment Front End Module)、ソーター、真空クラスター、真空プラットフォームといった総合搬送

システムとしてお客さまである装置メーカーにご提供できます。そのためお客さまは自社のプロセス装置の開発および設計製作に特化でき、生産性の向上が図れます。また、ロボット、ロードポート、アライナーなど、単体製品でのお付き合いのある既存のお客さまへもアプローチし、半導体関連生産設備のシェア拡大を目指します。



ロードポート、ウェーハ搬送ロボット、アライナーなどを組み合わせた300mmEFEM/ソーターの例



写真はツインアームロボット。アーム長変更可。シングルアームタイプもあり。

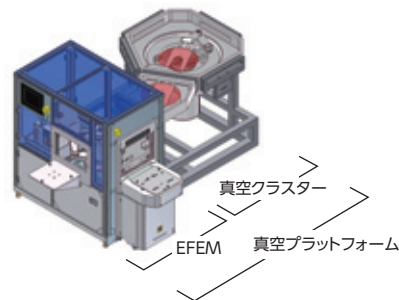
## 主な特長

- ダイレクトドライブモーター\*1の採用により、振動を約70~85%低減
- 従来のタイミングベルトをスチールベルトに変更することにより、横ブレが低減し、直進性能が50%以上改善
- 全軸平均速度の約20%アップと、なめらかな動作性のスマートモーション機能により、スループットが約30%アップ

(当社旧製品との比較)

\*1 減速機構を介さず直接駆動するモーター

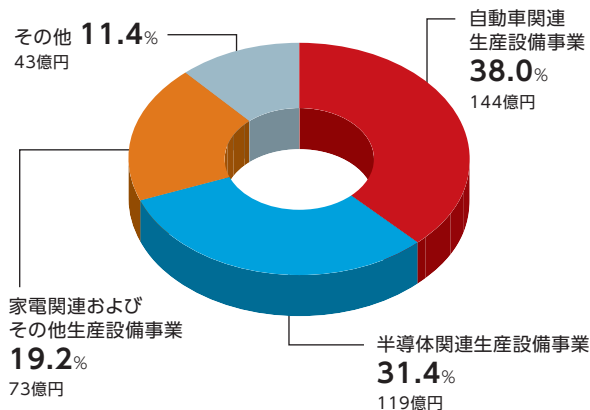
大気搬送のEFEMと真空クラスターを組み合わせた真空プラットフォームの例



## 事業部門別概況

### 当期売上高内訳

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)



売上高

**381** 億円

受注高

**386** 億円

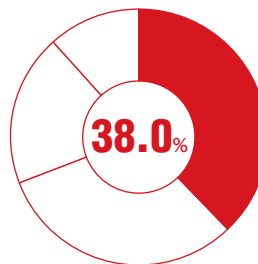
受注残高

**200** 億円

事業分野別の業績につきましては、企業の設備投資に対する慎重な姿勢が継続したことで、予定しておりました案件の受注が遅れるなど、依然として厳しい状況で推移し、当連結会計年度におきましては、総じて生産および売上とも低調でありました。

## 自動車関連生産設備事業

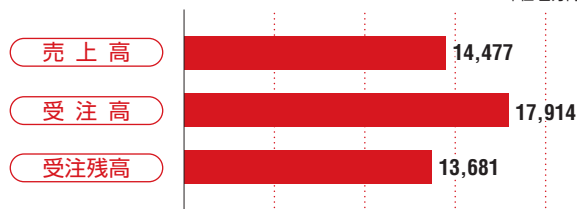
エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



売上高 **144** 億円

### ■平成25年3月期 売上高、受注高および受注残高

単位:百万円



### 第62期実績

自動車関連生産設備事業におきましては、上半期に予定しておりました大型案件の期ずれがあったため売上高へ影響がありました。下半期以降、北米の自動車メーカー向けの案件を中心とした受注が堅調に推移した結果、売上高は144億77百万円となりました。

今後も継続した設備投資が見込まれる当分野においては、北米自動車メーカーが中国他、世界市場で展開する事業展開に沿って事業を推進してまいります。



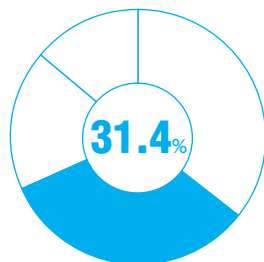
エンジン組立ライン



エンジンテスト機

## 半導体関連生産設備事業

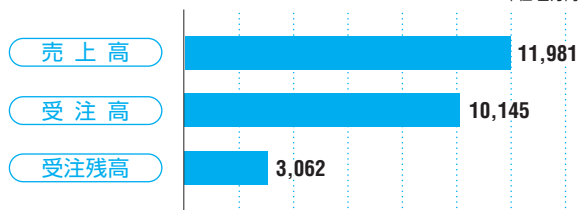
ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、レジスト塗布装置などのFPD関連生産設備の製造・販売



売上高 **119** 億円

■平成25年3月期 売上高、受注高および受注残高

単位:百万円



### 第62期実績

半導体関連生産設備事業におきましては、受注、売上とも厳しい環境の中、大型製造受託案件の受注の遅れなどが影響した結果、売上高は119億81百万円となりました。

今後は、既存顧客への密着した営業、北米市場への展開とともに、スマートフォン、タブレット端末などモバイル機器用強化ガラスの製造装置の販売拡大に努めてまいります。



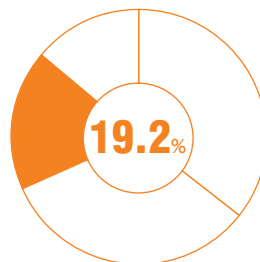
450mm EFEM/ソーター



ウェーハ真空搬送ロボット

## 家電関連およびその他生産設備事業

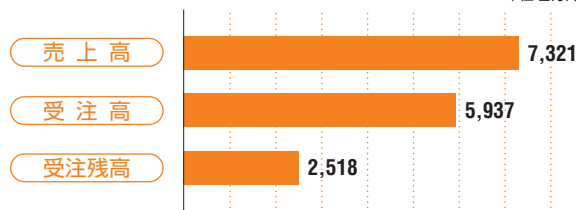
家電関連分野では、薄型テレビ、冷蔵庫などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **73** 億円

■平成25年3月期 売上高、受注高および受注残高

単位:百万円



### 第62期実績

家電関連およびその他生産設備事業におきましては、白物家電および電子部品を中心とした案件を予定どおり売上げた結果、売上高は73億21百万円となりました。

今後は、海外関係会社を活用し、アジア新興国での受注拡大を図ってまいります。



コンデンサー組立装置



モバイル機器組立装置 ACS-MD

# 連結財務諸表(要約)

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (24.3.31現在)	当連結会計年度 (25.3.31現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	35,637	33,622
現金及び預金……………1	7,549	5,351
受取手形及び売掛金……………2	20,540	21,462
たな卸資産	4,838	4,182
繰延税金資産	1,885	1,496
その他	847	1,132
貸倒引当金	△ 23	△ 2
<b>固定資産</b>	18,891	20,010
有形固定資産	15,525	15,892
建物及び構築物(純額)	4,319	4,381
土地	9,719	9,731
その他	1,486	1,778
無形固定資産	309	281
投資その他の資産	3,056	3,836
投資有価証券	1,794	2,313
破産更正債権等	67	44
繰延税金資産	867	1,125
その他	381	386
貸倒引当金	△ 54	△ 33
<b>資産合計</b>	<b>54,528</b>	<b>53,632</b>

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (24.3.31現在)	当連結会計年度 (25.3.31現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	21,930	23,300
支払手形及び買掛金……………3	8,379	7,341
短期借入金	5,742	6,403
一年内返済予定の長期借入金……………4	2,845	5,476
一年内償還予定の社債	750	—
賞与引当金	117	101
その他	4,096	3,976
<b>固定負債</b>	14,929	11,940
長期借入金……………4	10,087	7,360
退職給付引当金	1,254	1,021
その他	3,586	3,558
<b>負債合計</b>	<b>36,860</b>	<b>35,240</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	13,931	14,056
資本金	2,633	2,633
資本剰余金	2,322	2,322
利益剰余金	9,218	9,343
自己株式	△ 243	△ 243
<b>その他の包括利益累計額</b>	3,567	4,157
<b>少数株主持分</b>	169	178
<b>純資産合計</b>	<b>17,668</b>	<b>18,392</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,528</b>	<b>53,632</b>

## ポイント

### 1 現金及び預金

現金及び預金は、上期の売上が低迷したことに伴い、売掛金の入金額が減少した結果、前期比21億97百万円の減少となりました。

### 2 受取手形及び売掛金

受取手形及び売掛金は、海外案件の増加により、前期比9億22百万円の増加となりました。

### 3 支払手形及び買掛金

支払手形及び買掛金は、受注・生産高の減少に伴い前期比10億37百万円の減少となりました。

### 4 有利子負債

有利子負債は、外貨借入により短期借入金が6億61百万円増加した一方、長期借入金は94百万円減少した結果、前期比1億82百万円の減少となりました。



## ■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 〔自 23.4.1 至 24.3.31〕	当連結会計年度 〔自 24.4.1 至 25.3.31〕
売上高	47,622	38,146
売上原価	40,743	32,418
売上総利益	6,878	5,727
販売費及び一般管理費	5,540	5,276
営業利益	1,337	450
営業外収益	396	152
営業外費用	270	208
経常利益	1,464	394
特別利益	3	129
特別損失	207	23
税金等調整前当期純利益	1,260	501
法人税等合計	862	256
少数株主利益(損失)	△ 91	△ 39
当期純利益	489	284

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 〔自 23.4.1 至 24.3.31〕	当連結会計年度 〔自 24.4.1 至 25.3.31〕
営業活動による キャッシュ・フロー	943	△ 643
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 740	△ 1,018
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 540	△ 679
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 38	144
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 375	△ 2,197
現金及び現金同等物の 期首残高	7,924	7,549
現金及び現金同等物の 期末残高	7,549	5,351

## ポイント

### 5 売上高

売上高は、受注の遅延などにより、前年同期比19.9%減の381億46百万円となりました。

### 6 営業利益

売上高の減少に伴い、営業利益は4億50百万円(前年同期は13億37百万円の営業利益)となりました。

### 7 経常利益

売上高の減少に伴い、経常利益は、3億94百万円(前年同期は14億67百万円の経常利益)となりました。

### 8 営業活動による キャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前当期純利益5億1百万円に対して、売上債権が4億99百万円増加、たな卸資産が9億28百万円減少、仕入債務が13億53百万円減少したことなどにより6億43百万円の減少となりました。

### 9 投資活動による キャッシュ・フロー

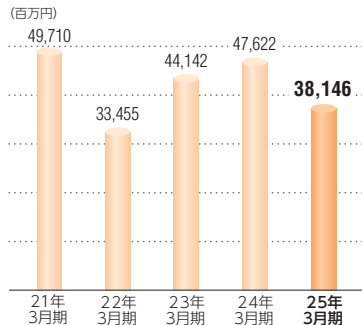
投資活動による資金は、有形固定資産の取得9億26百万円などにより、10億18百万円の減少となりました。

### 10 財務活動による キャッシュ・フロー

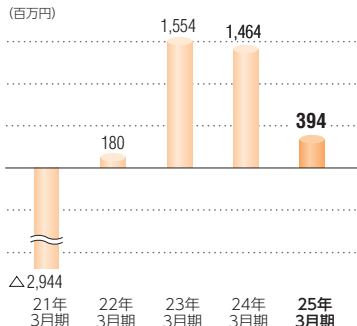
財務活動による資金は、短期借入金の増加4億98百万円、長期借入れによる収入31億円、長期借入金の返済による支出31億95百万円、社債の償還による支出7億50百万円、配当金の支払1億57百万円などにより6億79百万円の減少となりました。

# 財務ハイライト

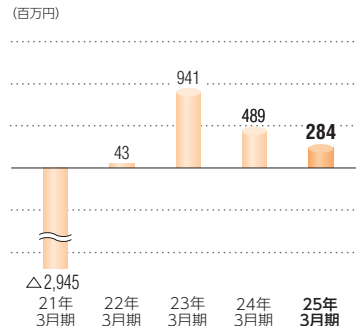
## 売上高



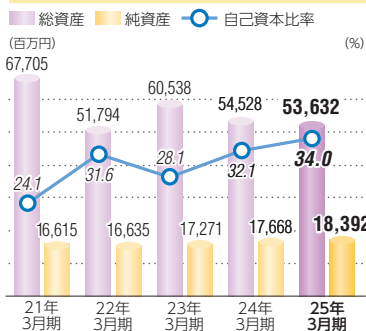
## 経常利益(損失)



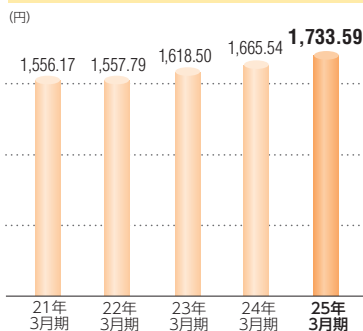
## 当期純利益(損失)



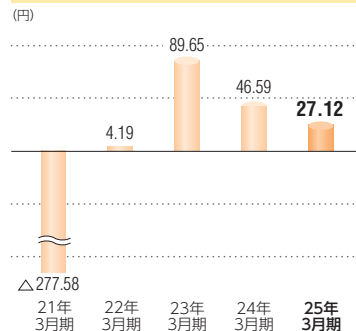
## 総資産／純資産



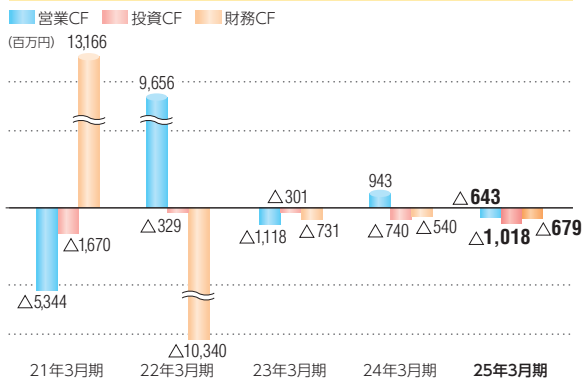
## 1株あたり純資産額



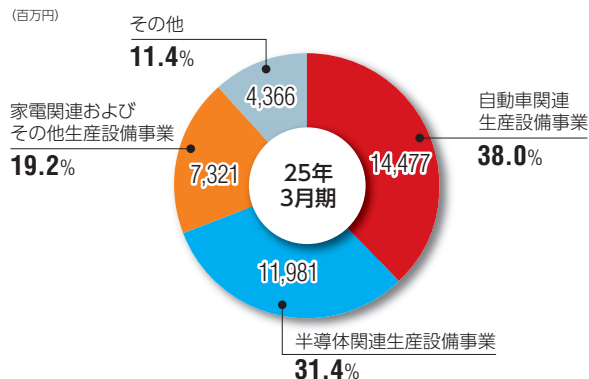
## 1株あたり当期純利益(損失)



## キャッシュ・フロー



## 事業別売上高および比率



## 会社概要 (平成25年6月26日現在)

会社名	平田機工株式会社
会社設立	1951年12月29日
資本金	2,633百万円
従業員数	1,888名 (連結 平成25年3月31日現在)
業務内容	各種生産システム、産業用ロボットおよび 物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地	東京都品川区戸越3丁目9番20号

役員	代表取締役社長	平田 雄一郎	執行役員	堤 春生
	代表取締役副社長執行役員	橘 勝義	執行役員	藤原 五男
	取締役執行役員	田中 敏治	執行役員	平賀 靖英
	取締役執行役員	安高 純一郎	執行役員	大田 謙次
	取締役	坂本 広徳	執行役員	市原 雄一
	常勤監査役	小川 克眞	執行役員	上田 文雄
	監査役	村田 邦夫	執行役員	本郷 仁基
	監査役	山田 昭	執行役員	黒田 健治
	監査役	鳥巢 宣明		

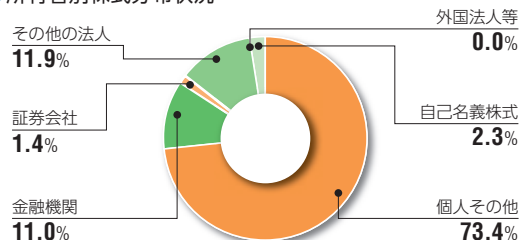
## 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 37,000,000 株
- 発行済株式総数 10,756,090 株
- 株主数 2,483 名

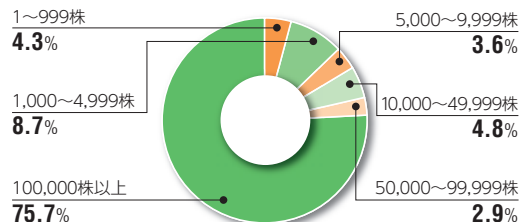
### 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
平田機工社員持株会	864,410	8.04
平田 得好	594,462	5.53
平田 雄一郎	582,600	5.42
SMC株式会社	500,000	4.65
平田 宏之	464,972	4.32
平田 満	457,629	4.25
株式会社肥後銀行	456,000	4.24
平田 紀生	375,162	3.49
平田 滋夫	363,044	3.38
平田 正治郎	321,500	2.99

### 所有者別株式分布状況



### 所有株数別株式分布状況



## 株主メモおよびその他のIR情報

### 株主メモ(株主のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主確定基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
証券コード	6258
上場金融商品取引所	大阪証券取引所 JASDAQ市場 なお、東京証券取引所と大阪証券取引所の統合に伴い、平成25年7月16日から東京証券取引所 JASDAQ市場となる予定です。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。

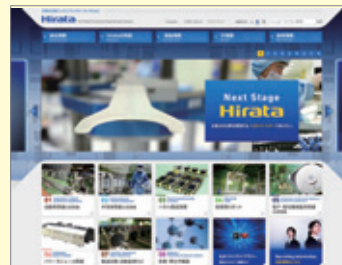
#### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### その他のIR情報

当社ホームページの個人投資家向けのページには、当社の事業内容、業績の推移、あゆみなどさまざまな情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

#### ■ 平田機工株式会社ホームページ



<http://www.hirata.co.jp/>

#### ■ IR情報



<http://www.hirata.co.jp/ir/>

#### ● IR情報に関するお問い合わせ先

平田機工株式会社 管理本部 総務部 IR・広報室

TEL 096-272-5558

FAX 096-272-3618

E-mail [hirata\\_ir@hirata.co.jp](mailto:hirata_ir@hirata.co.jp)

## 平田機工株式会社

### 本社

〒142-0041 東京都品川区戸越3丁目9-20  
TEL.03-3786-1226 FAX.03-3786-1264

### 熊本本部

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111  
TEL.096-272-0555 FAX.096-272-7901